社報　いわき民報
発行所
毎日夕刊（但月曜日ヶ月廿一回発行）
一部を送く
一ヶ月八十円
電話一三八番
平

平工を商工二科併置

平商は普通科両校とも夜間部

市の高校決る

平地區教育委員會は七日午前十時から市役所に開き新制高等學校設置案について次の如く決定、縣教育委員會へ答申した

◇平工業學校は商、工の二科を併設夜間高校とする◇平商業學校は普通科夜間高校とする◇平工業學校は商、工の二科を併設夜間高校とする

國家自治兩警察異動

◇警部補以下も竝ぶる◇

警察、自治兩警察署の設置に伴い警部補級の異動も發表された、地方關係の分は左の通り

◇警部補

▲國家地區　平へ木内榮藏（平）佐藤武二（平）岩松へ生江信兌（平）富岡へ田貫一（平）

▲補警（警部補）平へ横山進（平）磐出へ鹿目四（警務）白河へ鈴木經治（平）

▲新出所（平へ小名濱へ渡邊政吉（二本松）

▲自治警察　平へ金田功（平）磐出へ（全）車田善雄（全）小名濱へ小國敏吉（郡山）原町へ鹽田進一（平）湯本へ山形昌明（郡山）内郷へ大橋忠雄（白川）

平署部長級轉出者決る

今回の警察異動で平署ない巡査部長の轉出者は左の通り

磐署へ（渋野良道（司法少年係）内郷署へ田直男（司法）法廷ノ町署へ木村金家（行政）猪出代署へ國井房雄（經防）須賀川署へ阿部儀助（司法刑事）岩松署へ齋藤善吉（經務）磐出署へ高野善雄（經濟）

平第一校の入札十日に

平第一小學校の第二期工事の指名競爭入札は七日の決定のところ事務手續の都合上、明十日行うことに延期された

社會◎業　街頭募金

市では社會事業街頭募金を次の日取りで各高女生の協力を得て市ない三ヶ所で行う

國家地兩警察署長

今月もまた　配給確實

當分毎月變らぬ砂糖の配給に決定（砂糖の配給）

簡閲點呼代表者等を招待、常磐炭礦文化部からなる藝能、音樂等の余興もあり

何年ぶりかの砂糖の配給に主婦達はいづれもホクホクの態であるが、今後の見透しについて食糧の好意による放出は一人一日分の豫定であるから假令四人分ずつと配給して一年半はつづけられる豫定になるから月一人當り一キロは今後も配給になる、一月も配給は大丈夫されようとのことだが何分にもお食との代替品給なのでこの點では相當辛くお米と少したつと砂糖よりお米の方が出はせぬかとみている

平兩警察の陣容決る

定員國家五六名自治四八名

平地區國家及び平自治の兩警察の陣容は左の通りに決った

▲地區國家（四八名）

署長　警視　橋本岩夫

次席　警部　柴田義房

◇主任警部補（三名）木内榮藏、佐藤善一、横山進

◇巡査部長（九名）

井澤吾、松木太一郎、佐藤吉則、佐藤榮代治、藤田勘吉　鈴木　美（一名缺）

◇巡査（三四名）大國武岩淵清悦、鈴木德二、池下榮、佐々木庄吉、田崎源三、宮本豐、川島正男、佐藤周太郎、橋本忠男、引田正喜、小林茂助、鹿川今朝ノ郎

◇經濟警察官補（三名）岩城光郎、大和田榮一、田倉伊佐美

◇巡査　小林光男、佐々木忠男、田仲榮治、小瀧平已、菅野照夫、吉田貞、鈴木田出夫、◎田秀長、猪狩榮一、大竹六（平自治兼務以下九名）大野八郎、横田勇松、田中繁作、熊谷四郎、◎幸雄、角田秀雄（うち塚田治兼務以下二名）長谷川末吉、春川三重、笘原常吉（巡査候補八名）

▲自治警察（五、名）

署長　警視　本田正治

次席　警部　伊藤德雄

◇主任警部補　金田功、柳田雄

◇警視廳警察學校補習生　田喜雄

◇巡査部長　鈴木忠止、瓜生町六、桑名四郎

阿部健、川井亮、小塚留吉

◇巡査　大竹幸作、宍戸正、菅野榮、兒島鶴吉

いわき寸言

自治警察の陣容決る、の論答神經の疲あつても惰眠にとらわれがいことを牛づちかつて欲しい▲政局いよく混沌、大衆はどんな政權でも眞の大衆の味方となるものなら興味ないこと

第二回片濱驛傳競走

陸上競技連とスポーツ連で

競技陸上競技連盟及び磐城スポーツ連盟では共同主催で來る二日の十二日紀元節に第二回片濱驛傳競走を行う、參加申込者は二月五日までにスポーツ連盟に申込めばよいことになっている、コース區間は次のとおりである

◇第一區　平市役所前銀行前―湯本町入口警察所

◇第二區　湯本町―小名濱驛便局前

◇第三區　小名濱町―江名町榮港前

◇第四區　江名町―高久村滑津川橋

◇第五區　高久村―富野村花園神社

◇第六區　富野村―平市役所前銀行前

本田泉氏は十一日赴任

磐城本田泉前知事は十一日午前十一時十七分發列車で赴任する

橋本署長は八日に着任

新任平地區國家警察署長橋本岩夫警視は八日午後二時五分上野發の列車で赴任した

ミルク（乳製品）の登錄を

育兒保健衛生の一端を擔ふ町の化學者

左記藥舗へ御願ひ致します

才槌小路　測尾藥局

一丁目　大平屋藥舗

二丁目　西村屋藥局

三丁目　ホシ藥局

五丁目　平　藥局

田町　小野屋藥局

阿部　藥舗

牛乳御入用の方に御知らせ

三月一日より平市内の飲用牛乳に關しては、牛乳御入用の方は來る二月十三日、十四日の兩日午前中に所配給係へおいでになって左記店舗中御希望の處へ御登錄下さい、今後は登錄に合格した店舗ならばどこからでも購入して買うことが出來ます

柳町二

北目町一五一　若松牛乳店

田町　鈴木牛乳店

緒田町十一　齊果物直賣所

白銀町十三　岡田牛乳店

岡田は現在牛乳の配給を受けている店は從來通り新たに牛乳の配給を受けんとする方は保健所、保健婦、又は醫師の證明書を持參して下さい

福島縣古俳碑 ⑦

雫石太郎

八、奥の細道と福島縣

芭蕉の奥の細道は福島縣では白河の關から始まる。こゝは三關の一として有名すぎる程有名な所で、蕉翁は

風流のはじめや奥の田植歌

の句をものした。之は句碑として殘っている。

わが郷土勿來の關にこの碑があるが芭蕉は勿來の關には足を入れたことはない。後年にあつて土地の俳人が白河の關も勿來の關も同じ關であるといふので建立したものらしい。土地の人は風流石と名づけている。かうしたたぐひのものが名所と云はれる所に非常に多い。平潟にも

このあたり目に入るものはみなすゞし

の句碑が現存するが芭蕉はこゝにもきたことはない。平潟港の景色がよいのでその道の好事家がたて建立したものであろう。本市外の尼子稲荷にもみちのくの尼子稲荷や……の句が芭蕉の句としてつたへられているが、芭蕉は全然こ通りには足を入れていない。

須賀川の相楽等躬の邸についたのは元禄二年四月廿二日でその邸跡は本町伊藤榮吉氏の邊だといふ。こゝから須賀川三四目にある庭子屋の裏が可伸庵の跡といはれ（今のは三代目）が殘っている。可伸とは栗齋可伸のことで細道に出てくる人物である。が、名だけでその正体は分っていない。「世の人の見つけぬ花や軒の栗」の軒の栗は可伸のことを云ったものである。須賀川には數名存在し二本松の黒塚をみ、福島在の文字摺石では

早苗とる乙女やむかししのぶずり

の一句をものしている。こゝから月の輪の渡しをこえて瀬の上に行き、飯坂に行って一日とゞまっているが、當時の飯坂は細道に由るとひどい所で宿屋もなく、農家の土間をかりて夜をあかした程であった。飯坂から桑折に出て仙台に向って行った。

×　×

芭蕉の細道の行脚以來無數の俳人が中通りを通っている。本土地の俳人もその徳をしたって芭蕉忌をもほし至る所に句碑を建立した。本縣内の數は五、六十基になるのではないかと思はれる。石城郡下丈では

勿來の關　風流のはじめや奥の田植うた

小名濱善根院　西行の庭もあらん花の庭

内郷町御厩　百年のけしきを庭の落葉かな

赤井村、華蔵院　木の茂とにしるもなますもさくらかな

の四基がある。何れも民衆期以後のものである。以上雑としたものであるが拆をみて詳述することにしよう

盛況を極めた 石城こども祭

こども新聞社主催、市郡などい小中學校少年會連合の石城こども祭は八日磐女講堂で開催、第一部を正午に終り、午後から第二部に入ったが、審査には富樫有賀氏等が當った。なお郡内、磐城州代議士から祝電、小澤代議士からは特に永山秘書を通じ祝文と各校代表の記念品の贈呈があり、非常な盛況だった。入賞者は左の通り

参議院議員星一賞（大きな大根平第三校）代議士小澤佐七郎賞（金婚式、可愛い魚屋さん平第一校）代議士鯛内止二賞（ダニューブ河平第二校）代議士齋藤アキラ賞（忍び山、小名濱第二校）縣知事賞（山のこども小名はま第一校）縣會議員賞（村まつり、平第四校）石城地方事務所長賞（カチカチ山平第二校）平市長賞（月の沙漠、長倉校）平市少年補導會長賞（雨傘、中平第三校）いわき民報社賞（頭を忘れたカナリヤ、湯本賞湯（ほみ智））こども新聞社賞（望し、鐘の音、なこそ出蔵少年會）……の沙漠山田少年少女會友

火災罹災者へ見舞

小名はま町竹町消防小頭自作太郎氏は元町内の遭難家族の生活補助にと一万二千円程の寄附を集めたが、今日なお七千六百円程殘っているので、去る七日の火災罹災者にこれをそっくり見舞金にと贈った

性病科 内科 矢吹醫院 平市飯田町 電八二八番

……磯、上野台竹太郎、鰻田政雄、鰻田栄一、玉那覇……谷上キクエ、吉田タカ、門井榮作、吉田松次郎

三人組チンピラ窃盗團

湯本町湯本小學六年生中川安夫（一三）全新制中學二年生小野賢（一六）全松田正司（一六）――いずれも假名――のチンピラ三名は共謀中川は窃取の役、小野、松田の二名は見張の役をきめ、六日午前九時半頃市内田町小間物雑貨商高村林一郎さん方ウインドーから顔〓ケース二個を盗みその足で全〓市内四丁目洋品店澤本長吉さん方ウインドーから万年筆二本をかすめたほか市内で次々に三件の盗みを働き本署員に來た所を捕われた

……會を公會堂日本間に開く、受験者は數年十二から二十五才までの青年男女全部で但し陽性者小學生兒童は除かれる

小名濱の選抜大會 高女グランド開き

小名濱町高女グランド開きを兼ねた全米野對全中島の選抜對抗野球戰は舊正三日に當る一日の紀元節に行うが、兩軍のメンバーは左の如くに決った、なお審判は比佐正吉（醫）鈴木定治、比佐茂夫（醫）の三氏である

◆全米野　監督渡佐卓之助（投）藁谷兄（捕）渡邊（一）江尻（二）高津（三）庄司（遊）藁谷弟（左）飯塚（中）馬上（右）小澤

◆全中島　監督藤田宏明（投）赤津（捕）草野（一）森（二）大島（三）立花（遊）田中（左）比佐（中）村上（右）馬上

羅災者に見舞金を

小名濱急救町會で

小名濱まちでは去る七日の火災に對し八日急施町會を開いて罹災者に對し見舞金二萬円を贈ることゝした、焼失家屋は八戸七棟、半焼一戸一棟だが、この世帯數は左の如く十一世帯で人員は五十四名に達していて、損害も二百五十万円からに達している

關澤松能、小林十三、關……

自轉車盗まる

市内平市栄町器具商長谷川大さん（四四）方では八日夜十一時半頃自宅玄關ないに置いた中古自轉車一台約六千円相當を盗まれた

ツベルクリン反應検査實施

市では來る二十四日ツベルクリン反應……

自動車取締り 車輪檢査日取變更

自動車々輪檢査日取りが平、植田兩警署管内とも本月から次の通りに變更された

◆平每月十、十一、十二日

◆植田十三、十四日

灰皿

◆舊正月で各商店會もやれ福引券附だ、やれ二割引だと大賣出しに懸命、ポスター立看板をそろえて宣傳戰につとめている

◆ところが財源不足にたやむ市財務課では「何にか課税の對象は無いものか……」と街の景氣に一思案

◆とうく見つけ出したのがポスター、市獨立税の廣告税、ポスター立看板は結構だ、店頭以外の電柱や塀に貼出したときには市の檢印が必要です「ヘイポスター一枚一円、立看板十円と御安です……」というのが市の言分、税金にはコリた筈の商店も未だくらかつで十税金にご用心ご用心

二丁目商店會連合 福引初賣

初賣り 特賞一〇〇〇圓 現金一等五百圓空籤ナシ

舊正二日・三日（二月十一、十二日）

御買上金百圓毎ニ福引券一本贈呈

金五拾圓毎ニ副券一枚（二枚ニテ有効）

参加店名

飯田カメラ店　シラドヤ　白土屋糀店　常盤屋時計店　會津屋本店　酒井商店　綿引印刷店　會津屋支店　平火藥店　市川電機商會　水野藥局　大金糀商店　河内屋商店　森下屋井店　和久井紙店　坂本紙店

田口商店　相笠屋物店　大平藥店　丸井時計店　中谷田商店　武田陶器店　平野屋　仙台屋　酒井セトモノ店　今金商店　飯塚屋　十錢屋　關原商店　木下商店　永澤クリーニング店　田村無線電機商店

街の話題を奪った 二丁目商店會のサービス

特賞一〇〇〇圓大當りの空籤なし

舊正 福引大賣出し

舊正二日 三日の2日間

☆百円お買上毎に一本引けます

（参加店はポスター掲示あり）

二丁目商店會

福引券付大賣出し

化粧品の外 全商品一割引致します

ブローチ・ロケット・ペンランド・エビワ

ハンドバック・リボン・クシ・造花

化粧品セット・財布・鏡・ほか全部

高級化粧品豊富に有ります

平市銀座通り メイ化粧品店